

次号予告 2024 年 4 月号 Vol.31 No.4

【徹底分析シリーズ】「抜管」と向き合う

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 心肺統御麻酔学分野 仙頭 佳起

▼ プロローグ：覚醒・抜管の方法は標準化すると安全性が高まるか？

千葉大学真菌医学研究センター 呼吸器生体制御学研究部門 磯野 史朗

▼ 全身麻酔後の抜管：抜管前に考えていること

東京大学大学院医学系研究科 外科学専攻生体管理医学講座 麻酔科学教室 河村 岳

▼ 抜管にまつわる素朴な疑問：指導医によって言うことが違います

東京女子医科大学 麻酔科学講座 衛藤 由佳

▼ 管は抜いた、次になにをしますか

仙頭 佳起

▼ 抜管後、気道閉塞が疑われる症例の抜管

秋田大学大学院医学系研究科医学専攻 病態制御医学系 麻酔・蘇生・疼痛管理学講座 新山 幸俊

▼ ICU における抜管

横浜市立みなと赤十字病院 集中治療部 藤澤 美智子

▼ エピローグ：エキスパートのひとこと、ふたこと

東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座 木山 秀哉

【症例ライブラリー】腕神経叢ブロックがうまくいかない

オーガナイザー：東京女子医科大学 麻酔科 笹川 智貴

済生会前橋病院 麻酔科 中島 邦枝

五輪橋整形外科病院 麻酔科 汲田 翔

総合大雄会病院 麻酔科 酒井 規広

横浜南共済病院 麻酔科 渡邊 至

新潟大学医歯学総合病院 麻酔科 渡部 達範

※誌面の都合により、内容は変わることがあります。

◆◆◆広告一覧（五十音順）◆◆◆

アネスアルファ……………表 2, i, ii

アネスネット……………250

医学書院……………308, 309

医書ジャーピー……………vi

エム・ディー・マネジメント……………表 3

ディヴィンターナショナル……………224

南山堂……………248

日本医事新報社……………246

日本医書出版協会……………310

フジメディカル……………250

◆◆◆今月の our favorite◆◆◆

2018 年から別冊春号でお楽しみ
いただいていた「シェヘラザード
たち」が、2024 年から通常号に
お引越して、今月号から登場で
す。今は当たり前とされるような
プラクティスも、先人達の努力の
積み重ねの上にあるのだというこ
とが感じ取れます。

THE Editotials の NFL 選手 寿
命の考察は好奇心が満たされまし
た。ライン選手と麻酔科医との類
似性にも気づきましたが、ここで
語るにはスペースが足りない。(E)

徹底分析シリーズ「なるほどナツ
トク！ ICU における人工呼吸」
は後編です。2 月号の前編では基
礎的な理論、今月号の後編ではそ
れを臨床でどう活用していくかを
解説しています。人工呼吸（麻酔
管理）は身近だけど「ICU での人
工呼吸管理」はよく知らないな、
という方に、似て非なる二つの違
いについて知る機会になればと思
います。2 月号/3 月号を行きつ戻
りつ、読んでみてください。(N)

「diary」で取り上げる和歌山市の
東隣は、江戸時代の医師、華岡青
洲の故郷、紀の川市です。苦心の
末に全身麻酔薬「通仙散」を完成
させた青洲は、1804 年に全身麻
酔による乳癌手術を成功させまし
た。欧米で全身麻酔が行われる
40 年も前のことです。さらに青
洲は医師の育成にも尽力し、若い
医師に麻酔法を伝授しています。
和歌山県に、ごくわずかな LiSA
との縁のようなものを感じながら
「diary」を読みました。(H)

みなさまのつぶやき、感想は
「スキマ Times」へ！

